

ラグビーと ともに生きる

原案／加藤真也

教材コンセプトシート

●主な対象

小学校5～6年、中学校1～3年

●ねらい

ワークライフバランスをはじめ、ウェルビーイングを目指して多様な働き方と生き方が大切にされる時代において、仕事とラグビーを相乗的に向上させている人の事例を基に、より豊かな生き方について考える。

●取り扱うテーマ・キーワード

ウェルビーイング、ワークライフバランス、健康で豊かな生活、よりよく生きる喜び、自己啓発

教材活用ガイド

●いつ

- ・「キャリア・パスポート」の作成前
- ・進路指導の前後
など

●指導・活動時間の目安

- ・特別活動・学級活動などで1時間
- ・総合的な学習（探究）などの導入
など

●関連

保健体育…スポーツへの多様な関わり方、
スポーツの多様な楽しみ方 など
道徳…「向上心、個性の伸長」「勤労」「よりよく生きる喜び」など

●工夫・協力

キャリア教育の題材として扱う、地域の
同様に活躍している人の協力をあおぐ
など

段階

導入(7分)

展開(20分)

まとめ(18分)

学習活動

教材内容と指導上の留意点

※赤丸数字は縮小紙面と対応

【ウォームアップ】(2分)
今回の事例にあたるデュアルキャリアについて知る。

●活動1(5分)
【1st TRY】仕事をしながらスポーツを続けている人は、その生活にどんな魅力や意義を感じているか、想像する。

●活動2(20分)
【2nd TRY】インタビュー記事を読む。

※ぜひ時間をとって、「プラス1」に取り組むとよい。

4 2nd TRY 三浦 新輔さんにインタビューをしました。読んで、感動したこと、大切に思ったこと、ほかの人に伝えたいと思ったことを書き引いてみましょう。
Q1 どんなお話を聞いていますか?
Q2 ラグビーはどのくらいおもしろいのでしょうか?
Q3 とても大変と思いますが、どうして続けることができているのですか?
Q4 ラグビーでつかった精神とは、どんなものですか?

ラグビー教材③
ラグビーとともに生きる
デュアルキャリア
ウォームアップ
1st TRY
2nd TRY

5 Q5 他にもラグビーでつかった精神が生かせることはありますか?
Q6 取材に、仕事でつかったことでラグビーに生かせることは、どんなことですか?

プラス1! ラグビー憲章について、調べてみましょう。
【地位・結束・情熱・規律】の5つの価値は、選手、指導者、トレーナー、メディア、ファン、スタッフ、関係者、ファンなど、ラグビーに関わる全ての人々に共有してほしい価値観です。
3rd TRY
まとめ方の例

①小中学生では、スポーツ選手といえば、テレビで見られるようなプロの選手や競技しか思い浮かばない場合も多い。この教材を通して、スポーツを続けながら他の仕事に従事するなど、さまざまな関わり方で、好きなことを大切に生きていく人が多くいること、そのように生きることができると気づけるとよい。

②地域で同様の活躍をしている人がいる場合は、その方に協力をお願いしてみるのもよい。

③探究的な学習の進め方を念頭において、事例的に進めるとよい。

④インタビュー記事を、直感的によいと感じた言葉や繰り返し出てきた言葉などに線を引きながら読む。

⑤ラグビー憲章について、意識して読むようにする。

⑥グループ内やクラス全体への発表などでラグビー憲章への関心を高めつつ、インタビューへの感想を交流する。

⑦A4用紙1枚やプレゼンテーションソフトなどを用いて、まとめ、まとめ。その際、他の人に伝わるようにまとめることを意識する。

⑧同まとめを用いて、将来について想像し、仕事とそれ以外の時間をどう使うかなどにも広げて考えてみる。

⑨同様の(または異なる)テーマを基に、インタビューしてみたい人を想定したり、実際に協力を求めるためにどうするかなどを考えてみるのもよい。